

市民と福祉をむすぶ

かけはし 11月

第245号

2024

11月



編集発行 / 社会福祉法人養父市社会福祉協議会 〒667-0022 養父市八鹿町下網場320 (地域交流センター「福祉の杜」)
令和6年11月15日発行 ■電話 (079) 662-0160 ■FAX (079) 662-0161 ■E-Mail : info@yabu-shakyo.jp
■ホームページ <https://www.yabu-shakyo.jp/>

フォロー-500人突破!

社協Instagram
QRコード

助け合い 広がる つながる 赤い羽根

～つながりをたやさない社会づくりをめざして～



街頭募金 (道の駅ようか但馬蔵)



職域募金 (養父市商工会)

10月1日から全国一斉に「赤い羽根共同募金運動」が始まりました。今年度で78回目となる歴史あるささえあい運動です。

養父市内でも各区や企業、学校や街頭などでさまざまな募金活動が行われています。寄せられた募金は、来年度、市内の福祉活動に活用されます (かけはし9月号挟み込みチラシ参照)。みなさまのご理解ご協力をお願いいたします。

地域資源を再生し

地域コミュニティの中核施設へ

養父市社協では、明延区・NPO法人但馬を結んで育つ会・コミュニティデザインラボ（宮崎県三股町社協）と連携し、明延区の空き家「小林たばこ屋」をコミュニティスペース併設のみやげ屋へ再生するプロジェクトを進めています。

明延区は国内有数の鉱山の町として栄え、かつては4千人を超える人が住み、病院・映画館・購買部・パチンコ屋などなんでもある町として賑わっていました。閉山後は人口減少が続き高齢化率70%を超える限界集落となっています。

「小林たばこ屋」を活動拠点として再生

そんな明延区には鉱山が栄えた当時のまま残る「小林たばこ屋」があります。一部のSNSで話題になっている左官技術を駆使した立体看板のある空き家です。当時は商店を連ねていた道沿いに建つこの建物を、地域に住む人が集まれる場、また域外の人とも交流できる場として再生させるプロジェクトが進んでいます。

プロジェクトのスタート企画

プロジェクト初日の10月28日には「あけのベクエスト」と銘打ち、10数年手つかずのたばこ屋の整理を兼

ね、空き家に眠っている昔懐かしい品々を見つける宝探しイベントを開催しました。

当日は41人が参加し、今では貴重品となっている柳ごうりのバッグやレコードプレーヤーなどのお宝発見もあり、昔話や当時の暮らしについて話が弾みました。

当日参加した男性は「僕にとっての一番の収穫は明延小学校閉校記念誌を見つけたことです。大切にしたいです」と話しました。

また、明延区の小林史朗区長は「今回多くのボランティアに来ていただき、驚きと感謝の気持ちでいっぱいです。山の中の空き家再生に多くの方の知恵や協力をいただき、今後の展開に期待しています」と完成が待ちきれない様子。

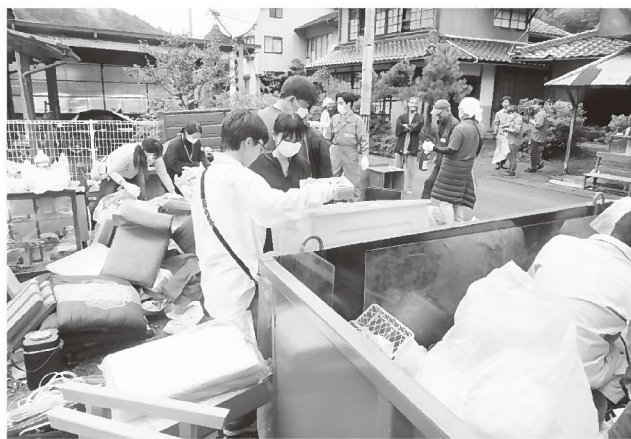
今後、コミュニティスペースとして生まれ変わる「小林たばこ屋」を中心とした交流活動が活発になるよう社協も協力していきます。

ボランティアを募集しています

活動拠点となる「小林たばこ屋」を再生するためにDIYボランティア

を募って、みんなが集いやすい場となるように改修作業を行っています。解体作業や塗装作業は専属の一級建築士を中心に作業を進めています。作業にご協力いただけるボランティアを募集しています。

活動期間は11月24日までの毎週月曜日から土曜日の9時から16時までです。都合がつく時間にいっしょに作業してみませんか。興味のある方は養父市社会福祉協議会までご連絡ください。



▶あけのベクエストでお宝さがしをするボランティア（10月28日、明延区）

令和6年度

歳末たすけあい運動にご協力よろしくお願いします

スローガン「つながり ささえあう みんなの地域づくり」

毎年12月1日から31日まで、赤い羽根共同募金運動の一環として、歳末たすけあい運動が行われます。新年を迎える時期に、支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるよう、地域住民やボランティア等の参加のもと、さまざまな福祉活動を重点的に展開するものです。みなさまのご支援をよろしくお願いします。



【配分事業一覧】

No.	事業名	対象
1	灯油贈呈事業	低所得のひとり暮らし高齢者・高齢夫婦世帯
2	使い捨てカイロ贈呈事業	低所得のひとり暮らし高齢者・高齢夫婦世帯
3	見舞金贈呈事業	経済的に支援を必要とする世帯
4	白米配付事業	経済的に支援を必要とする世帯
5	多様な居場所づくり支援事業	「こども食堂」「認知症カフェ」など当事者の社会参加の事業に配分
6	年末年始地域ふれあい事業	住民主体でふれあい事業等を実施する区へ配分
7	市内障害者通所施設の訪問	市内の障害者通所施設を訪問し、激励
8	子育てサロン事業	子育て支援団体へ配分



▲昨年度、中瀬区と鉦山区が合同で行ったクリスマス会。子どもから高齢者までたくさんの区民がつどい親睦を深めました（中瀬公民館）

※上記事業以外に地域行事等で使用する貸出用レクリエーション用品を購入します

ひょうご仕事と生活の調和推進企業に認定されました

認定証を受けとる宮本会長



10月17日、ひょうご仕事と生活センター（神戸市）が普及推進する「ひょうご仕事と生活の調和推進企業」に、養父市社会福祉協議会が認定されました。

これは、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）を実現する制度整備や、働き方の見直しなどの取り組みを実施し、一定の成果を上げている企業・団体等に認定されるものです。

認定事業所としてさらにワーク・ライフ・バランスの推進に努め、今後は表彰企業をめざしていきます。

- 賛助会員
- 〔20〕▽西垣泰子〔13〕▽馬場崎恵美子〔10〕▽和田金男▽北尾正二▽中野穰▽前田宗男〔6〕▽本谷みゆき▽匿名1名〔5〕▽足立昌博▽田村剛太郎▽折杉重広▽佐野誓（調布市）▽奥田慶子▽和田祐之▽竹下淳子▽匿名3名〔3〕▽森本一（朝来市）▽圓山多津美▽竹内睦生▽安達博之▽森本英子▽匿名2名〔2〕

- 特別会員
- 〔100〕▽日本精鈺（株）中瀬製錬所〔20〕▽和光印刷（株）〔10〕▽川本燃糸（有）（株）田村オート▽グツドクリン〔5〕▽フジタ印房

賛助会費と特別会費は、所得税法上の寄附金控除及び損金算入の対象となる寄附金です。

令和6年度 賛助会員・特別会員のお知らせ
令和6年4月1日～令和6年10月15日までの加入分（順不同・敬称略）

- ▽西村幸枝▽瀬原達夫▽匿名1名〔15〕▽匿名1名〔1〕▽和田ひで子▽匿名1名

▶手際よくお弁当の準備をするボランティア（＝南谷ふるさとセンター）



今月の

地域だより



南谷地区
ボランティア

手作り弁当を届けて安否確認 地域を見守る友愛訪問



10月22日、南谷地区の80歳以上のひとり暮らし高齢者と85歳以上の高齢者のみ世帯あわせて42名を対象に、南谷地区ボランティアグループが友愛訪問を行いました。

これはコロナ禍を除き、20年以上続いている取り組みで、訪問して高齢者の安否確認や近況などを尋ねながら弁当を届けています。訪問を受けた高齢者からは「おいしいお弁当を届けてもらい、とてもありがたいです。食事を作るのもおつくうな時があり、たくさんのおかずが入っているのだから、近所のお店がないので、一度買い物に行くのとたくさん買

わなあかんのが重くて大変。たとえ1食でもお弁当を届けてもらえるのは助かります」と喜んでいました。参加したボランティアは「届ける先々で『ありがとう』と感謝の声をいただき、励みになります。これからも少しでも長く続けられるよう頑張ろうと思います」と話しました。



▲体調の変化がないかなど声をかけながらお弁当を手渡すボランティア

指定ごみ袋の販売



燃やすゴミ袋

(大) 600円
(小) 400円

ぜひお買い求めください。

食品アクセス緊急対策事業

近年、人口減少と高齢化の進行、公共交通サービスの縮小、地域経済の衰退などにより買い物に困難さを抱える方が増えています。また、経済的困窮の広がりにより、日々の食事に困る世帯もあります。

関係機関が連携してこれらの問題を調査し、対策を考えるため標記の事業を10月1日から開始しました。(農林水産省補助事業)

事業の内容

- (1) 協議会の設置
 - ・養父市全域を対象とした「食品アクセス確保のための地域協議会」を設置
- (2) 関係者間の調整役の配置
 - ・上記協議会の運営に、職員1名をコーディネーターとして配置
- (3) 地域における食品アクセスの現状・課題の調査
 - ・経済的理由により食品にアクセスできない方の実情等に関する調査
 - ・食品事業者などの食品ロス状況等に関する調査

「私たちと一緒に働きませんか?」

ケアマネジャー募集

正規職員 パート



未経験者歓迎♪

養父市社会福祉協議会
☎ 079-662-0160



養父市善意銀行だより

令和6年9月16日〜令和6年10月15日（敬称略）
 預託者のご了承をいただいた方のみ寄附金額を掲載しています
 養父市善意銀行へ寄附金の預託をされた方は寄附金控除を受けられる場合があります。
 詳しくは事務所までお問い合わせください。

- ▼亡夫供養 大屋市場 奥田 慶子 50,000円
- ▼亡妻供養 安井 田中 鉄雄 30,000円
- ▼亡父供養 浅野 橋本 洋司 30,000円
- ▼亡母供養 伊佐 高木 義明 30,000円
- 梨ヶ原 西谷 和弘 30,000円
- 関宮 小谷 勇 30,000円
- ▼香典返し 森 田村 敏胤 100,000円
- ▼善意の寄附 匿名40回 5,000円
- ▼物品の寄附 川東 林 博巳 かぼちゃ 紙おむつ、吸水シート、ゴム手袋、マスクほか

災害時のたすけあい活動を学ぶ 災害ボランティア養成講座

能登半島地震を始め、復興支援に関わった支援者から現地の様子や必要な支援、防災について学びます。



第1回

日時：11月27日（水）13:30～15:30

会場：地域交流センター「福祉の杜」

講演：「能登半島地震から防災について学ぶ」

講師：養父市危機管理室 次長 津崎 宏行 氏

第2回

日時：12月13日（金）13:30～15:30

会場：地域交流センター「福祉の杜」

講演：「多様性が求められる被災地支援について学ぶ」

講師：被災地NGO協働センター 代表 頼政 良太 氏

◆問い合わせ・申し込み▶▶▶社協各支部へ

- 天 子 本谷みゆき
- 切手
- 森 たまねぎ 田村 弘明
- スグチ 沖田 守
- 中間 上垣 巖
- しそ 坂本 正敏
- 三宅

- ありがとうございます。
- ◆寄附金 30万5,000円
- ▼フードバンク事業
 - ・コープこうべ 協同購入センター但馬
 - ・匿名 白米、ジュース、麦茶、しょうゆ、菓子ほか
- 紙おむつ、ごま
- はがき、切手、生理用品、5人
- タオル、雑巾
- 西村美智子
- 美建
- 木材の端材
- 木材の端材
- 関宮
- 丹戸
- 匿名 1名

養父市結婚相談所のご案内

ウエル えん とも こん ◆WEL♥縁♥友♥婚

※毎月第2・第4日曜日に開設する結婚相談（無料）

素敵な出会いを探しにきませんか？

お気軽にご相談ください

- 開設日 11月24日（日）、12月8日（日）
12月22日（日）、1月12日（日）
- 時間 13:30～16:00
- 場所 ウエルシア養父上箇店「ウエルカフェ」
（養父市上箇66）
- 問い合わせ先
ハートやぶ事務局（養父市社会福祉協議会本部）
電話：079-662-0160/FAX：079-662-0161
E-mail：info@yabu-shakyo.jp

弁護士による無料法律相談 13:30～16:30

先着6人の予約制となっていますので、事前に電話でお申し込みください。

- 期 日 令和7年1月15日（水）
- 場 所 地域交流センター「福祉の杜」
- 相談時間 1人30分程度
- 申し込み先 養父市社協本部
☎ 079-662-0160

子育てサロン 放課後プレーパークの案内

市内の子育てサロン、放課後プレーパークなどの情報はQRコードをチェック！



QRコードを読み込むと詳しい情報が表示されます

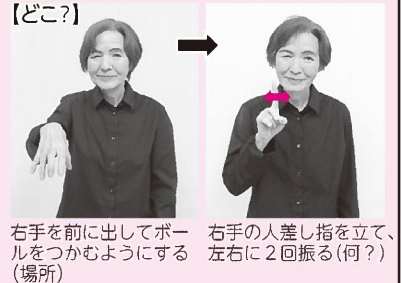
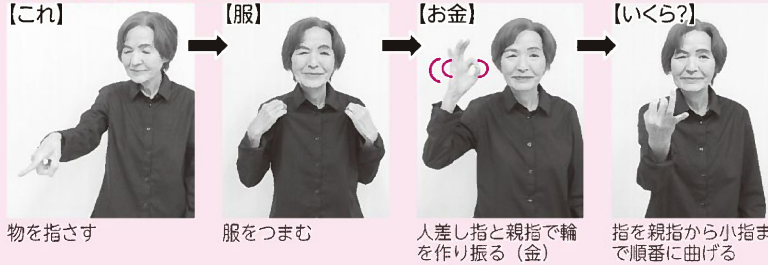
みんなの手話教室 第51回

『質問』に関する手話

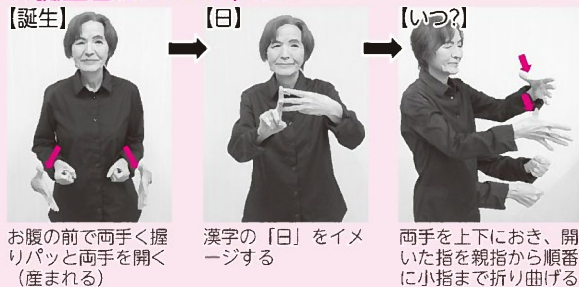
手話は、手指の動きや表情、動作などで表す目で見える言葉です。耳が不自由な人とのコミュニケーションだけでなく、様々な場面で広がっています。八鹿手話サークルの小林八重子さんに、質問をするときに使う手話を教わりました。

【関連用語】

☆この服はいくらですか？

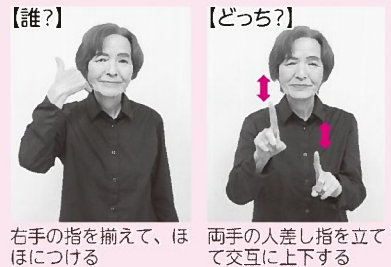


☆誕生日はいつですか？



ワンポイント

質問をするときは、「いつ」や「いくら」を表わすのと同時に、首を傾げて目を少し大きくひらくと伝わりやすいです



わたしのつづやき

あんな～あ



山崎 敬一さんからの「まいとくれんせえ」

認知症カフェを通しての私の想い

「認知症になっても人生終わりではない、認知症になっても自分らしく楽しく生きていくことができる」「あなたが私を忘れても、私はあなたを忘れない」「介護はプロに、愛情は家族で」私が参加する認知症カフェで学んだことです。私の妻は55歳で認知症を発症し72歳で旅立ちました。介護で悪戦苦闘することもありましたが、「怪誤」⇒「介護」⇒「快護」⇒「快

市民のみなさんからの心安らくエピソードやちょっといい話、ちょっとこれ見という写真を掲載するコーナーです。



互」と醍醐味を味わうこともありました。

但馬では25カ所、養父市内でも6カ所の「認知症カフェ」があります。カフェに参加し、悩みや苦勞、喜びを一緒に語り合いましょう。認知症ご本人のお出かけ先や居場所の一つに加えてみませんか。

私も8月に後期高齢者の仲間入りをしましたが、「光輝幸麗者(こうきこうれいしゃ)」となれるように妻の仏前でお願ひしています。

おめでたいです。

★前回の答えは『健康』でした
山中 春乃さん
矢野 一美さん
川濱 圭佑さん
以上3名の方が当選されました。

★応募先 〒667-0022
養父市八鹿町下網場320
「福祉の杜」内
養父市社会福祉協議会
FAX 662-0161

■応募方法 QRコードかほかはがきまたは、FAXに答えと住所、氏名、フリガナ、年齢、電話番号、「かけはし」をお読みになったご意見・ご感想をご記入の上、ご応募ください。正解者の中から抽選で3名さまにQuoカード500円分を贈ります。いたただいた個人情報、当コーナー以外の目的には使用しません。

応募はこちら



応募先 QRコード

行きたる

バラバラになった文字を組み合わせて2文字の言葉を作つてね。
ヒント ○○募金

分割クイズ

Quoカードが当たる!



この広報紙は共同募金配分金が使われています。